

ボランティアレポート2

2021年11月28日(日)

あなたの手がまちをつくる！熊本初！熊本発！

～レゴブロックでつくる段差のないまちづくり～

身近にあるおもちゃのレゴブロックを活用し、車イスやベビーカーの方々にとって通行の支障となっている「まちなかの段差」を解消するためのスロープ実証実験(ワークショップ形式)を行いました。



実証実験に先立ち、10月からレゴブロックの提供募集を開始。最終的に段ボール20箱程が全国から集まりました。あいぽーにもたくさん届きましたよ！

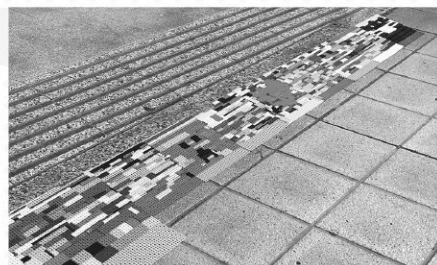
制作会場：熊本市現代美術館

まずはレゴブロックでスロープを制作！小学生とその保護者、ボランティアスタッフなど総勢27名が参加し、色とりどりのブロックでスロープを制作。



実証会場：Denkikan

制作したスロープは、希望店舗などに配布。色とりどりのブロックで作られたスロープが、段差のないフラットなまちづくりに寄与するとともに、熊本市のまちを華やかにしてくれます！



ワークショップ参加者の声



自分の作ったレゴブロックのスロープで、車いすの方やベビーカーの方がお店などを利用しやすくなると嬉しいです。



身近なものでできることを、もっと多くの方に知ってもらいたいんです。

あいずボランティアレポート

eyes volunteer report

今回は熊本市と民間がまちづくりに向けて連携する組織、「WeDOくまもと」についてご紹介！安全で楽しい、誰もが通れる熊本市の「道」を作るのは…私たち！？

WeDOくまもと とは

「熊本市第7次総合計画」における各種施策の実現を、『公民連携』で推進するため組織された団体です。誰もが移動しやすいフラットな道『グリーンベルト』の形成を軸に、公民連携による独自の視点で、様々な側面から事業を展開しています。

ボランティアレポート1

2021年3月27日(土)

まちなかあるき〈SA・RA・KU〉



車いすやベビーカーを使用してまちなかを移動し、道路や公園の良いところ・悪いところを調査！さらに参加者が見つけた問題点を、LINEアプリを使って投稿する「参加型実証実験」を行いました。参加してくれたのは車いすの使用者に加え、ベビーカーを利用する親子、ボランティアスタッフと様々。「歩きやすい熊本市」を目指して、いざ出発！

目的

- ・道路利用者のニーズ調査
- ・『グリーンベルト』普及の必要性を認識してもらう
- ・市民とともに『段差のない移動経路』を作り上げる
- ・段差箇所データベースの構築

ミッション発動！

- 共用施設の「多機能トイレ」を発見し、車イスで中に到着せよ
- 走行し難い「歩道の段差・幅員・障害物等」を5つ以上探し出しLINEアプリに投稿せよ
- ルート上の道路(歩道含む)空間で、「休める(くつろげる)可能性のある空間」を探し出しLINEアプリに投稿せよ



道中、参加者にはミッション(初級編・中級編・上級編)を出題。それぞれの立場や経験を通して歩く「まちなか」の道には、新しい発見が盛りだくさんでした。



日頃歩いているアーケードを車いすやベビーカーで利用して、初めて利用者の視点で気づくことがあり、参加してよかった。気づいた部分を提案して改善してもらえるきっかけになると嬉しいです。

